

平成29年5月30日
中部地方整備局

平成29年度「都市景観大賞」受賞のお知らせ ～愛知県内の1地区3活動が大賞等を受賞～

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年実施されている表彰制度です。

本制度は、景観に関する優れた地区・活動に対して、「大賞」（国土交通大臣賞）、「優秀賞」等を授与し、さらなる取組の契機としていただくとともに、全国に広く紹介することにより、良好な景観の形成を推進することを目的としています。

この度、【都市空間部門】の大賞に愛知県半田市の「半田運河周辺地区」が、【景観まちづくり活動・教育部門】の大賞に愛知県田原市の「福中まちづくりプロジェクト」、優秀賞に愛知県岡崎市の「岡崎百景」と愛知県豊川市の「豊川稲荷表参道商店街景観整備事業」の活動が選定され、平成29年6月16日（金）に表彰式及び受賞活動発表を実施します。

1. 受賞地区等

【都市空間部門】

○大賞：【半田運河周辺地区】／愛知県半田市

【景観まちづくり活動・教育部門】

○大賞：【美しいふるさと渥美を愛する心を育む『福中まちづくりプロジェクト』】
／愛知県田原市福江中学校区

○優秀賞：【岡崎百景 一私とまちの100のドラマー】／愛知県岡崎市全域
【豊川稲荷表参道商店街景観整備事業】

／愛知県豊川市門前町豊川稲荷表参道商店街

2. 表彰式

日時：平成29年6月16日（金）

場所：東京都文京区 住宅金融支援機構本店 1F「すまい・るホール」

【問い合わせ先】

中部地方整備局 建政部 計画管理課

課長 牧野 勉

課長補佐 若杉 謙二

TEL 052-953-8571

■地区名：半田運河周辺地区

■面積：約 44.4 ha ■所在地：愛知県半田市

■応募者：株式会社 Mizkan Holdings、半田市、特定非営利活動法人 半六コラボ、株式会社 NTTファシリティーズ、株式会社 石本建築事務所、株式会社 GKデザイン総研 広島

■地区の概要：

当地区は JR 半田駅より 400mほど東に位置する半田運河沿いの一帯で、古くから残る黒塚の工場や倉庫が運河沿いに連なる景観は市の観光資源の一翼を担っていた。この景観を構成する建屋の多くはミツカングループの長年の企業活動によるものだが、工場機能の移転に伴い再整備を実施、企業活動と表裏一体の景観を従前以上の資源として更新し、新たな賑わいを派生させるための取組が官民一体で行われた。

街区ごとに景観上の特性を踏まえた検証を行い「保存」「改修」「新築」の方針を決定、建物ヴォリュームやディテールを丁寧に検証し、全体として従前の景観を継承しながら、近景としては現代的で新しさを感じる街路空間を形成した。街路沿いに四季折々に変化する草木を植え、この場所ならではの特色ある環境施策を導入するなど、地区全体が環境モデルとしての先進的な取り組みにもなっている。

運河両岸と3つの橋までの範囲は脱色舗装、植樹、休憩スペースの整備を行い、歩行者に快適な空間づくりを行うことで、地区全体の回遊性を生む計画とした。

集客のコアとなる「MIZKAN MUSEUM」では、地元NP0 等とも連携し、建物内外で様々なイベントが企画される等、地域とともに成長を続ける施設となっている。また、運河沿いの拠点の一つとなる半六コラボと市による「半六邸」の保全整備等により、このエリアへの来訪者が増加、当地区の整備に誘発されて新たなイベントも増えてきており、周辺を巻き込んだ地域活性化にむけた活動も始まっている。

■審査講評：

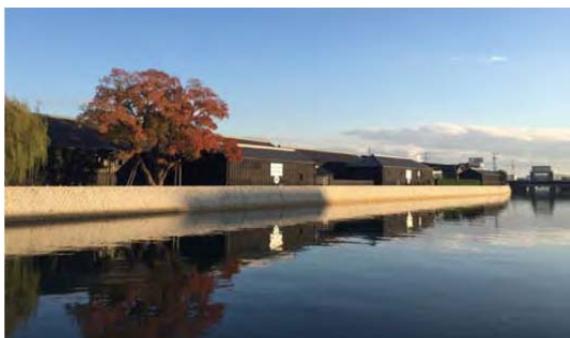
景観継承がキーワードである。保全、活用、創造を当然のように内包し、時代の変化のなかで、場所としての雰囲気、記憶をつないでいく。そのために、プロポーションと質感を継承しつつサイズと素材を革新し、製造停止といった生産の変化をミュージアムやイベントといった意味に転換した。この企画の戦略性と具体のデザインの質の高さに感服する。地域に根ざした老舗企業のプライドと責任感がなせる仕事である。また半六邸の保存は地域住民の粘り強い活動成果である。耐震補強の方法までを提案して無理といわれた保存を勝ち取った。さらに運営費を稼ぎ出しての活用は、老舗から新たな主体への資源の譲渡、これも継承である。こうした民による質の高い仕事に対して自治体は、計画とインフラの高質化によって景観の担保と下支えを行った。条例に基づく修景補助は主な施設の間にある住宅や店舗の外観の雰囲気を方向づけている。こうしたコラボレーションが、運河沿いの景観を変化させながらもつないでいる。ここで撮影された黒澤明「姿三四郎」の映画のシーンを継承する何かも期待できそうだ。そのためにもこの場所の芯である運河の水が元気であり続けて欲しい。(佐々木)



運河右岸の新築した MIZKAN MUSEUM (手前) と中間実験棟 (奥) : 「伝統」+「革新」と位置づけ、中間実験棟は、従前同様に改築、MIZKAN MUSEUM は景観継承しながら近景として現代的な雰囲気を表現。



MIZKAN MUSEUM 南側の風景：右手前は再整備した中村街園。ミュージアムのオープンに合わせて、道路舗装、街園の整備を実施。



運河東側の第二工場跡地：「伝統」と位置づけ、古くから残る建屋を補修して保存。運河を横断していた電線も撤去、源兵衛橋からの景色が一段と印象的なものになった。



地元の祭礼行事の風景：MIZKAN MUSEUM の中庭に山車を曳き込むなど地域の祭りに参画。運河沿いの整備に伴い、様々なまちづくり団体によるイベントの開催が増加。

「大賞」(国土交通大臣賞)

- 活動名 : 美しいふるさと渥美を愛する心を育む『福中まちづくりプロジェクト』
- 活動範囲: 愛知県田原市(福江中学校区)
- 応募者 : 田原市立福江中学校

■活動の概要:

福江中学校区には、地域を流れる免々田川沿いに咲く河津桜や菜の花を始め、昔の港町の商店街に残る昭和の町並み、陣屋跡周辺に広がる歴史ある町並みなど、自然景観や歴史景観に恵まれ、この美しい渥美の景観が生徒の自慢の一つとなっている。

福江中学校では、「美しいふるさと渥美を愛する生徒を育む」を目標に、生徒自らが地域に出かけ、ふるさとを知り、ふるさとのことを考え、ふるさとのために動くまちづくり学習を進めている。

平成15年度に、ボランティアクラブ「ドリームの会」を結成し、地域の美しい景観を守るため、海岸などの景観美化活動が始まった。以来、景観まちづくりへの取組は、全校生徒による景観を美しくする奉仕活動の「サンキュー☆福江」や、地域の活性化を担う「福江*つるし飾りロード」、ラベンダーの栽培から商品開発、活動PRを兼ねた販売まで実施する「ラベンダープロジェクト」、総合的な学習の時間など、様々な活動が継続、展開している。行政機関および地域の方々と連携して、地域の景観まちづくり活動に取組み、地域活性化の一翼を担っている。



「ラベンダープロジェクト」ドリームの会で草取りや花の摘み取り作業を実施。花の摘み取り作業は全校生徒が参加。

■審査講評:

本プロジェクトの校区は田原市景観基本計画の景観重点整備地区候補地に位置づいており、中学校は2003年からボランティアクラブ「ドリームの会」を立ち上げ、全中学生が景観美化活動を開始している。「ドリームの会」は「ラベンダープロジェクト」へ発展し、生徒は地域の方からのアドバイスを得てラベンダー栽培、商品開発に挑戦し、さらに中学校は「総合的な学習の時間」や学校行事を活かして、各学年の学習目標を1年:地域を知る、2年:地域を考える、3年:地域のために動く、として全学年の教育課程に位置付けて系統的な学びを展開している。この取組みは「ふるさと渥美と自分の未来をつくる」として学校だけでなく地域全体で次世代を育む体制ともなっており、「子どもの未来像」を共有しながら展開されている。こうした取組みは、学校を核とした地域魅力化事業「学校・地域『創』プロジェクト」として教育委員会、田原市役所街づくり推進課、地域の多様な団体の協働体制へ進展し、生徒たちは地域社会の一翼を担うことで自己有用感・自己肯定感を高めている。このように人材育成・地域活性化・学校と地域が協働するまちづくり体制は共創による学校・地域づくりのモデルともなりうる独自性のある取組みとして都市景観大賞にふさわしいと評価できる。(小澤)

「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

- 活動名 : 岡崎百景 -私とまちの100のドラマ-
- 活動範囲 : 愛知県岡崎市(岡崎市全域)
- 応募者 : 岡崎市、特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた、岡崎百景推薦人

■活動の概要:

岡崎百景選定事業は、平成28年の市制100周年の節目に、次世代に伝えたい100の景観を市民自らが選ぶことで、新たな魅力の発見やふるさとへの理解を深め、まちへの誇りや愛着(シビックプライド)を醸成し、景観資産を核とした景観まちづくりの推進に繋げようという試みである。

実施にあたっては、岡崎市、景観整備機構である「特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた」、市民公募で集まった「百景推薦人」の3者が協働し、日常の中で見過ごされがちな身近な景観も対象とするとともに、景観を単なる「眺め」として捉えるのではなく「人がその景観に抱く想い(人とまちのドラマ)」に焦点を当てて、その想いにより他者の共感の輪を広げていこうとする事、及び、景観まちづくりの担い手を育てていくプロセスを重視して進めた。選定後は、岡崎百景を景観資産と捉えて守り育てて行く体制に繋げ、その地域らしい景観の創出、地域活性化や観光資源とすることも見据え取組を続けている。



H27年度、百景候補を一般の方向けに披露する「岡崎百景候補お披露目会」を実施、H28年度に市民投票を経て岡崎百景を決定し、公表。

■審査講評:

景観まちづくりにおいて地域を代表する風景を選ぶ活動は珍しくない。しかし岡崎百景はそれとは一線を画すユニークな活動である。単に名所的な風景を選ぶのではなく、百景推薦人が個人的な体験や思いをこめて風景を選び、洗練された写真と短い文章でアピールする。それが岡崎の人々の共感と呼んでいるのだ。岡崎を代表する景観を選ぶのではなく、風景をきっかけとして岡崎で暮らしていることの実感を共有する活動なのである。百景の選定基準づくりや選定の意思決定についても百景推薦人が主体的に取り組んできた。こうしてまとめられた岡崎百景は到達点ではなく、百景という情報として、また百景推薦人という集団として、今後の景観まちづくり活動の資源そのものである。

さらには百景推薦人自身が「これは私たちの岡崎百景だが、次の世代の岡崎百景はこれとは別に選ばれるはず」と語る。市民が集まり議論してきたからこそ生まれた言葉だと感銘を受けた。景観まちづくりにとって大きな問題のひとつは、地域景観に関する価値観の共有である。岡崎百景はその先進的な取り組みとして高く評価できる。今後の展開にも注目したい。(福井)

「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

- 活動名 : 豊川稲荷表参道商店街景観整備事業
- 活動範囲 : 愛知県豊川市(門前町 豊川稲荷表参道商店街)
- 応募者 : 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 建築都市設計研究室

■活動の概要:

愛知県豊川市門前町に位置する豊川稲荷表参道商店街は、栄えていた昭和30年頃の活気を取り戻すべく、豊川稲荷門前らしい商店のファサードを復活させることを目標に、平成18年度より商店街や行政、大学と協働した店舗ファサード改修を行い、現在に至るまで15の店舗改修を行った。

平成20年度より、新たに施したガイドラインに沿った景観整備事業が開始、大学、商店街、行政に加え、商工会議所や豊川市開発ビル(TMO)など様々なメンバーがこの景観整備事業に関わっている。

事業当初は点在していた改修店舗が、ある程度連続して面的な効果を持ち、さらに様々な立場の方の意見も加わることで、これまでにない多様性を持つ新たな景観が形作られている。そうした中、大学はかつての商店街の街並みを再生するのではなく、ガイドラインに沿いながらも、各々の店舗がより特色ある個性を発揮し、商店街全体が元気になるようなデザインを提案している。学生は様々な評価を受けることができるという、学座では決して得られない設計者育成にはまたとないデザイン教育の機会となっている。



まちの人の交流拠点“いっぷく亭”にて店舗改修時の景観協議会を開催。いっぷく亭の一角には学生が滞在するサテライトラボを設置。

■審査講評:

大学が地域景観の維持や創出に貢献する活動は全国でいくつもの事例があるが、本事業は実務的な体験を通じた建築系学科での学生教育として特に評価したい。

本事業では学生が主体となって店舗ファサードの改修デザインを提案し、実務経験のある指導教員がサポートしながら施主・施工者を交えた検討を通じて設計案をまとめ、景観協議会での審議を受けて実現する。この過程では店の個性と商店街全体としての景観を考えて施主にデザイン提案を行い、限られたコストと工期の中でアイデアを実現するための素材や構造を施工者と議論する必要がある。建築確認申請が不要な範囲であるとはいえ、数ヶ月という短い時間の中で同時にいくつもの課題を解決しなければならない。それを年間1件以上のペースで進めてきたことについて、そこに投入された関係者の時間と知恵に敬意を払いたい。

施主側の意向と景観のバランスを考えてデザイン検討を進めることは景観まちづくりに携わる設計者にとって不可欠な能力だが、これに関する訓練を大学の設計課題として行うことは難しい。社会に出れば施主側か景観側のどちらかに軸足がある立場に身を置かざるを得ない。そうした点で本事業は大変貴重な教育機会を提供していると評価できる。

地域のニーズとそれに応える指導者がタイミング良く揃った本事業によって、景観まちづくりの現場感覚とバランス感覚を身につけた若者が実務者として活躍していくことに大きな期待を感じるものである。(福井)

「都市空間部門」

受賞地区一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：10件

地区名	地区面積	応募者
<small>はんだうんがしゅうへん</small> 半田運河周辺地区 (愛知県半田市)	約 44.4 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 Mizkan Holdings ・半田市 ・特定非営利活動法人 半六コラボ ・株式会社 NTTファシリティーズ ・株式会社 石本建築事務所 ・株式会社 GKデザイン総研 広島
<small>くまづ</small> クラシック草津地区 (群馬県草津町)	37.7 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・草津町
<small>ながのえきぜんこうじぐちえきまえひろば</small> 長野駅善光寺口駅前広場地区 (長野県長野市)	約 0.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市 ・東日本旅客鉄道株式会社

「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>ふくいえきにしぐち</small> 福井駅西口地区 (福井県福井市)	約 1.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・福井駅西口中央地区市街地再開発組合 ・福井市 ・株式会社 アール・アイ・エー ・株式会社 竹中工務店 ・パシフィックコンサルタンツ 株式会社

「特別賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

地区名	地区面積	応募者
<small>とうほくだいがくかたひら</small> 東北大学片平キャンパス地区 (宮城県仙台市)	約 23.0 ha	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人 東北大学 ・仙台市

「景観まちづくり活動・教育部門」

受賞活動一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：12件

活動名	活動エリア	応募者
中央一丁目「街並み委員会」～震災を乗り越え、人とのつながりが息づく、歩いて暮らせる安全なまちを目指して～	宮城県石巻市 中央一丁目地区	<ul style="list-style-type: none"> ・<small>ちゅうおういちおおどお</small>中央一大通り会 ・横浜国立大学 都市計画研究室 ・株式会社 街づくりまんぼう ・石巻市
美しいふるさと <small>あつみ</small> 渥美を愛する心を育む 『 <small>ふくちゅう</small> 福中まちづくりプロジェクト』	愛知県田原市 福江中学校区	<ul style="list-style-type: none"> ・<small>たはら ふくえ</small>田原市立福江中学校

「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

活動名	活動エリア	応募者
里山を生かしたまちづくり	千葉県白井市 平塚、神々廻、 十余一地区	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人 しろい環境塾
<small>おかざきひゃっけい</small> 岡崎百景 -私とまちの100のドラマ-	愛知県岡崎市 岡崎市全域	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市 ・特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた ・<small>おかざきひゃっけい</small>岡崎百景推薦人
<small>とよかわいなりおもてさんどう</small> 豊川稲荷表参道商店街景観整備事業	愛知県豊川市 門前町 豊川稲荷表参道商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 建築都市設計研究室

中部地方におけるこれまでの受賞実績（平成25年度～）

○平成25年度 「景観教育・普及啓発部門」優秀賞

活動名	活動エリア	応募者
郷土への誇りと愛着を育む「家康学習と景観まちづくり学習」(愛知県岡崎市)	愛知県岡崎市	岡崎市立大樹寺小学校

○平成26年度 「景観教育・普及啓発部門」優秀賞

活動名	活動エリア	応募者
ふるさと藤川夢に向かって新世代プロジェクト(愛知県岡崎市)	愛知県岡崎市	岡崎市立藤川小学校

○平成27年度 「景観づくり活動部門」優秀賞

活動名	活動エリア	応募者
自然と歴史を受け継ぎ、暮らしの香り漂う生活空間の創造(愛知県豊田市)	愛知県豊田市 豊田市景観計画 足助景観重点地区	足助まちづくり推進協議会

○平成28年度

「都市空間部門」大賞

活動名	地区面積	応募者
旧東海道二川宿地区(愛知県豊橋市)	約 35.5 ha	豊橋市、「二川宿」まちづくり会、大岩町東まちづくり会、大岩中まちづくり会、特定非営利活動法人 二川宿、二川・大岩まちづくり協議会、岩屋緑地に親しむ会、二川リンクージ、二川つるし飾りの会、国立大学法人 豊橋技術科学大学

「景観まちづくり活動・教育部門」大賞

活動名	活動エリア	応募者
景観まちづくり 街のみなさんでおもてなし「福江＊つるし飾りロード」	愛知県田原市 福江地区	清田・福江校区まちづくり推進協議会

「景観まちづくり活動・教育部門」優秀賞

活動名	活動エリア	応募者
中山道中津川宿の景観まちづくり	岐阜県中津川市 中山道中津川宿	本町中山道景観協議会＋中津川市十名古屋工業大学景観研究会、中津川市、名古屋工業大学景観研究会

※都市景観大賞は、平成23年度～平成26年度までは、「都市空間部門」及び「景観教育・普及啓発部門」の2部門で審査が実施されており、平成27年度に「景観づくり活動部門」が追加され、平成28年度に「景観教育・普及啓発部門」と「景観づくり活動部門」が統合され、新たに「景観まちづくり活動・教育部門」が創設されております。

平成29年度 都市景観大賞について

平成29年度は、下記の通り、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。平成27年度、景観法10周年記念として実施した「景観づくり活動部門」と従来の「景観教育・普及啓発部門」を統合し、平成28年度から、「景観まちづくり活動・教育部門」として募集しています。

I. 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …… 原則1～2地区
- ② 優秀賞 …… 数地区
- ③ 特別賞 …… 内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。

※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

委員長	陣内 秀信	法政大学教授
委員	池邊このみ	千葉大学教授
	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	岸井 隆幸	日本大学教授
	佐々木 葉	早稲田大学教授
	高見 公雄	法政大学教授
	田中 一雄	㈱GK デザイン機構代表取締役
	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局市街地整備課長
	国土交通省	住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、平成29年3月時点)

II. 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） …… 原則1～2活動
- ② 優秀賞 …… 数活動
- ③ 特別賞 …… 内容に応じ、適宜選定

3. 募集対象

景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

委員長	小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
委員	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	大道 博敏	江東区立越中島小学校主幹教諭
	福井 恒明	法政大学教授
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、平成29年3月時点)